

① 玉湯まがたま学園の完成校舎視察に行ってきました！

令和3年3月16日（火）に松江市玉湯町に新たに建設された玉湯まがたま学園の視察に行ってきました。玉湯まがたま学園は現在の玉湯中学校の敷地内に、現在ある3小学校を統合した小学校と幼稚園・児童クラブを一体的に整備した学園です。幼稚園から中学校まで一貫した教育が可能であり、校舎には松江市産材をはじめとした地域材が多く使われています。

校舎と幼稚園舎は木構造で施工され、大部分が松江市産材と島根県産材を使用しています。このため木材の調達に相当の時間を要することが見込まれたため、松江市は工事と木材の調達を別々に行う「分離発注方式」を採用されました。

小学校の玄関ホールにある大きな3本の柱は玉湯町で生産された木材で、校舎のシンボルとなっています。また音楽室や廊下の天井の一部には益田市で生産・加工された木材が使用されています。教室や廊下など全ての部屋から木のぬくもりが感じられました。

また、幼稚園舎は在来木造工法で作られており、柱には無垢材が使用されています。体育館の天井部分の梁も無垢材が使用され、木の良さが見える形でデザインされています。

これだけの木材を使用しているの、設計と準備で大変な労力と時間を要したと思いますが、本校舎で学ぶ多くの園児や生徒が毎日木にふれあうことができる最高の環境が整備されていると思いました。

視察当日に撮影した学園紹介動画を高津川流域林業活性化センターが下記のyoutubeチャンネルで公開されていますのでどうぞ視聴下さい！

<https://www.youtube.com/channel/UCzYDRcjLThK7ZhNbKHAS1sg>



小学校校舎 玄関ホール



幼稚園・児童クラブ外観



体育館 内装

② 天皇陛下お手植え木「コウヤマキ」苗木の出発式が開催されました！

令和3年4月10日(土)に鹿足郡吉賀町において、第71回全国植樹祭50日前イベントとして天皇陛下お手植え木「コウヤマキ」苗木の出発式が開催されました。当イベントは、コウヤマキ生産者の会と第71回全国植樹祭島根県実行委員会の共催で行い、当日は50名を超える参加者で賑わいました。

第71回全国植樹祭での天皇陛下によるお手植え木は、本県の森林にゆかりのあるスギとコウヤマキの2樹種が選定されました。この2樹種は、スサノオノミコトが体毛を抜いて木に変えたという神話の伝承樹種です。また、コウヤマキは吉賀町六日市に山陰地方唯一の自生林があり、吉賀町で熱心に生産に取り組まれている生産者から是非全国植樹祭に苗木を提供したいとの申し出があり、吉賀町のコウヤマキが苗木として選定されました。

式典では、知事や県議会議員による挨拶のほか、苗木生産者による活動の発表や苗木の積み込みなどが行われました。生産者は苗木の生産から出荷までの報告や、吉賀町のコウヤマキが天皇陛下お手植え木として選定されたことへの喜びなどを話されていました。

苗木を積み込んだトラックを背景に、知事と参加者との記念撮影も行われ、植樹祭に向けて機運が高められました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



知事と苗木生産者



苗木を載せて出発する軽トラック